

貧酸素水塊速報 (2020年)

【発行】 千葉県水産総合研究センター 千葉県農林水産技術会議
○ 神奈川県水産技術センター ○ 内湾底びき網研究会連合会
【協力】 ○ 千葉県環境研究センター 東京都環境局
第三管区海上保安本部 (国) 国立環境研究所
○ モニタリングポスト(海上保安庁, 国土交通省 関東地方整備局)
(今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

令和2年10月27日観測結果

貧酸素水塊は川崎沖及び羽田沖から市原沖にかけて分布しており(図1)、内湾北部中央では溶存酸素量が1.5mL/L以下の海域がありました。

縦断ラインの鉛直分布において、貧酸素水塊の厚みはほとんどありません(図2)。

水温は表層17~20°C、底層17~23°Cです。

※内湾底びき網研究会連合会による今年最後の調査結果です。

半年間ご協力ありがとうございました。

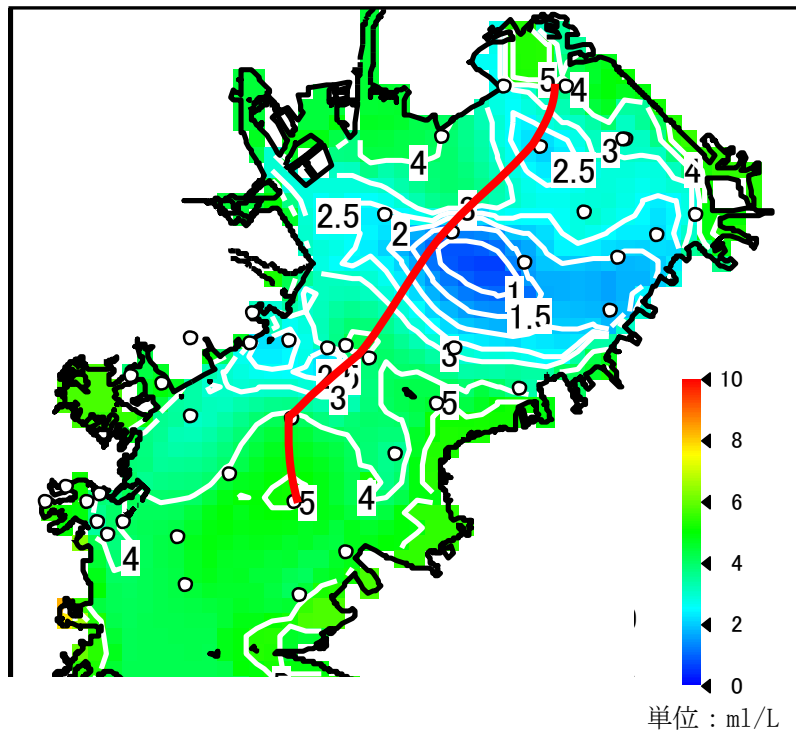


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

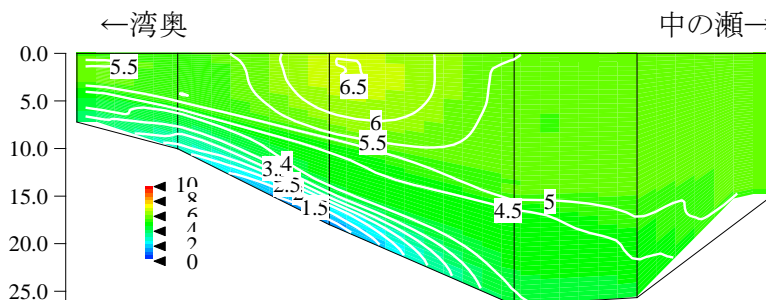


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布